

## ＜サンプル投稿＞ 行動計画

期限	何をやるのか	それが必要だと思った理由はなにか
例) すぐに	〇〇セミナーへ参加する	△△大学が提供するオンラインプログラムへ参加し、ID の知識を身につけ、そこで得た知見を中堅教員向けの研修で提供したい。
すぐにやること	ARCS モデル等、授業改善のアドバイスとして利用できそうな ID の知見を見つける。	教員向けの研修で紹介したり、他大学の事例の良い点を理解するためにも、ID の知識・スキルを身につけたい。
	授業改善に役立つようなオンラインリソースの収集・公開	ID を含む授業改善に役立つようなウェブサイト、書籍等の情報をまとめ、学内向けのウェブサイト等で公開しておく。
	他大学の教育センターの取り組みを調査し、自身の所属する FD 部門が他にできることはないか検討する。	現在、自身が所属する FD 部門では主に授業改善に役立つ知識・スキルの情報提供のみ行っているが、教務教員や管理者等も含めて他にもできることはないのか、対象者に対するヒアリング等も含めて検討したい。
今年度中にやること	日本教育工学会の FD ワークショップへ参加する	FD ワークショップへ参加して、ID に関する知識・スキルを身につけ、疑問点を解消したい。
	将来的なラーニングコモンズの活性化に向けて、オフィスアワーを始める。	自身が所属する大学にもラーニングコモンズがあり、図書館職員が運用を担当しているが、各分野の入門書等の資料やディスカッションルームが設置されているだけである。そのため、まずは教員によるラーニングコモンズでのオフィスアワーの開催として、自身が担当している IT 系基礎科目について学生が何でも聞くことができるようにしたい。その後、同じ教育センターに所属する教員や全学の教員に対して FD セミナー等の中でオフィスアワー活動について紹介し、少しずつオフィスアワーの文化を浸透させ、将来的には、全学のあらゆる分野の教員が交代でラーニングコモンズで学生の質問に答えることができるようにしたい。  教員によるオフィスアワー文化が浸透した後は、分野ごとのチューターの雇用と支援を進めるために、図書館職員向けの FD セミナーを行いたい。FD セミナーでは、この物語で学習したアメリカの大学の事例等を紹介

		介した上で、大学院生などをチューターとして雇用し、IT・外国語・医学等、分野ごとにチューターがラーニングコモンズに常駐する体制を構築することを提案したい。
	IT 関連科目のディプロマポリシーの再検討	工学部情報学科の教員と本学が提供するディプロマポリシーで IT と関連するものを確認し、各科目がどのようにつながっているのか、カリキュラムと併せて確認したい。その結果、各科目のディプロマポリシーに対する位置づけが明確になれば、教員は学生に対して説明ができるはずである。
近い将来やること	FD セミナー認定添削者のセミナーへ参加する。	セミナーへ参加し、ID としての整合性に照らした改善提案ができるようになり、自大学の教員へアドバイスができるようになりたい。
	ラーニングコモンズの運用開始	図書館職員向けの FD セミナーを行い、大学院生などをチューターとして雇用することについて合意が得られれば、雇用のための予算を図書館職員と相談しながら確保し、実際にチューターの雇用手続き、学生への周知等を進めたい。また、ラーニングコモンズの先進事例として紹介されていたアメリカの大学も実際に訪問してみたい。